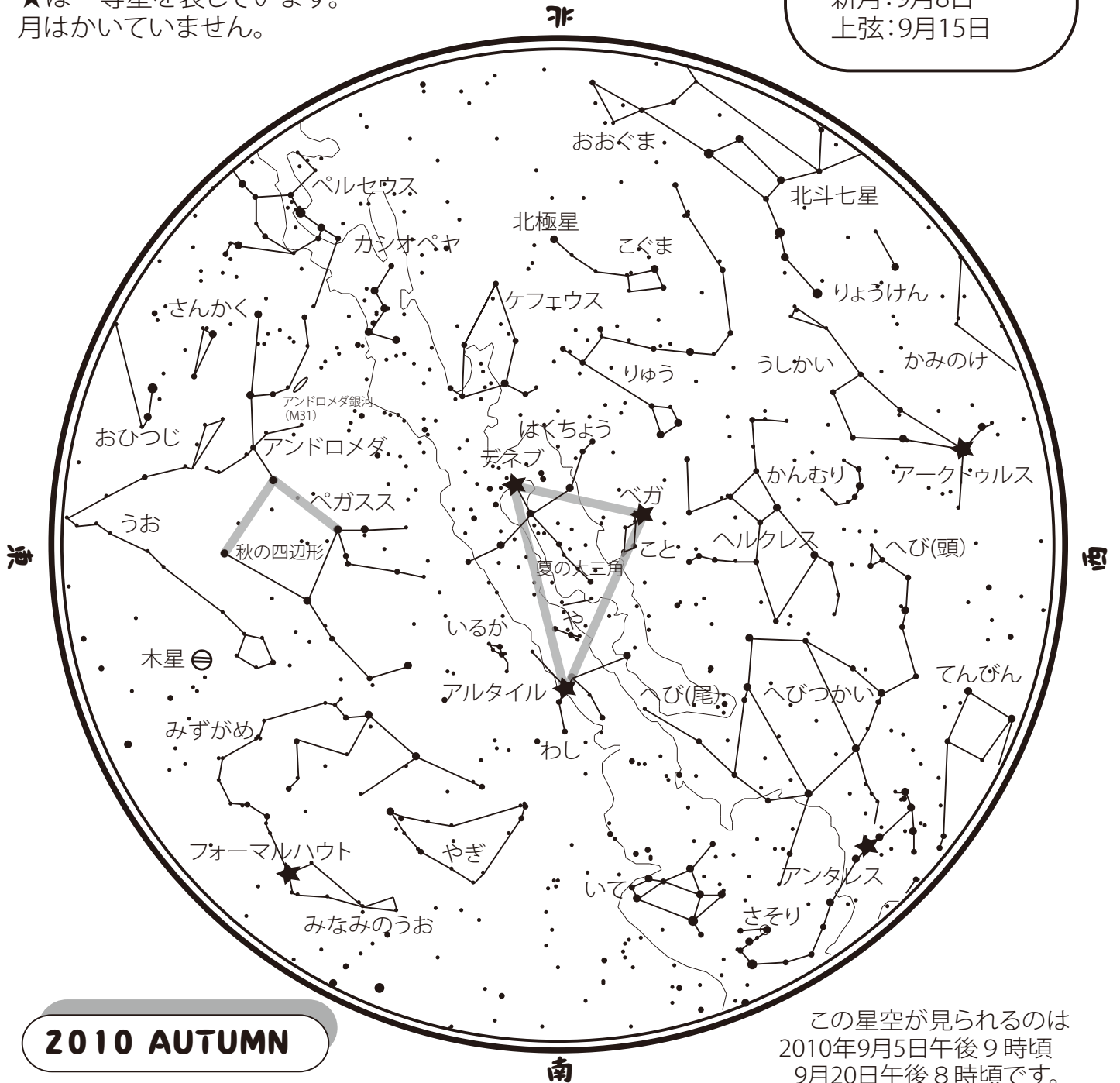


# ★ 姫路で見る9月前半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。  
★は一等星を表しています。  
月はかいていません。

下弦:9月2日  
新月:9月8日  
上弦:9月15日



**2010 AUTUMN**

この星空が見られるのは  
2010年9月5日午後9時頃  
9月20日午後8時頃です。

夕暮れをすぎ、しばらくして東の空に明るく輝いているのは木星です。木星は太陽から5番目に遠く地球からも離れていますが、太陽系最大というだけあって明るく、大きな望遠鏡で見ると表面の様相まで見ることが出来ます。12年で太陽のまわりを一周する木星は、1年に1つずつ黄道十二星座中を移動し、今年はおうし座の中に見えています。

南東の低い空には、みなみのうお座の口元にあるフォーマルハウトが輝いています。東の空には、秋の星座たちが季節の変化を知らせるように姿を見せています。ペガサス座の胴体は、秋の四辺形として秋の星座探しの目印となります。四角のそれぞれの辺をのばして、みずがめ座やうお座、アンドロメダ座を探してみましょう。

頭の上に見える明るい星は、夏の大三角を作ること座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブです。この夏の星座の星たちは、クリスマスの頃まで夜空で見ることが出来ます。